

徳島県環境白書の刊行に当たって

「環境の世紀」と言われる二十一世紀。しかしながら、廃棄物処理といった私たちの日常生活に密着した身近なものから、地球温暖化をはじめ世界規模に至るものまで、環境問題はますます複雑・多様化しています。

また、平成23年3月に発生しました東日本大震災を契機として、「省エネ社会の実現」、災害に強い「自立・分散型エネルギーの導入促進」が喫緊の課題となっております。

今を生きる私たちには、この美しい地球を、より美しい姿で未来に引き継いでいくことができるよう、最大限の力を注ぎ、真正面から環境対策に取り組んでいく責任があり、県民・事業者・行政、それぞれが高い環境意識のもと、お互いに連携して「環境の保全・創造」、「社会・経済の発展」、そして「省エネ型ライフスタイルへの転換」を一体的に実現する「持続可能な社会づくり」に取り組まなければなりません。

本県では、県政運営の指針である「いけるよ！徳島・行動計画」において、7つの基本目標の一つに「環境首都・先進とくしま」の実現を掲げ、地球環境にやさしい社会づくりに向けて、低炭素社会の形成をはじめ、自然環境の保全・創出、豊かな森林づくり、潤いあふれる生活環境づくりなどに積極的に取り組んでいるところです。

さらに、大規模災害の発生時における環境面での対応や、自然エネルギーの導入促進をはじめとする環境情勢の変化に的確に対応し、新たな課題への取り組みをより充実していくため、本年中に新しい「徳島県環境基本計画」を策定するとともに、「徳島県地球温暖化対策推進計画」、「自然エネルギー立県とくしま推進戦略」といった分野別の計画を着実に推進し、総合的かつ計画的に環境施策を進めることとしています。

こうした様々な取り組みを効果的に展開し、本県が地球環境に優しい社会づくりをリードする、世界に誇る「環境首都・先進とくしま」を実現していくためには、県民・事業者・民間団体の皆様の主体的な取り組みが必要不可欠であります。本書を通じ、県民の皆様お一人お一人が本県の環境問題への認識を一層深められ、これまでも増して、環境の保全・創造につながる活動に取り組んでいただければ幸いです。

平成25年3月

徳島県知事 飯泉 嘉門